

Jネット会長 太田四郎(本町五丁目出身)

考えていただきたいと思うのです。

お喜び申し上げます。 におかれましては、ご健勝にお過ごしのことと 今年の夏は大変な暑さが続きましたが、皆様

技術面での自信のもてる明るいおめでたいこと の物理・化学二分野でのノーベル賞受賞は科学 さて、この頃は暗い話の多いなか、このたび

和二十五年(一九五〇年)に五千五百円だった大 と単純に考えれば、多くの施設や物をはじめす 日本の人口が約半分になるそうです。そうする 題をかかえていることに気がつきます。 再生など緊急の問題山積ですが、さらに長期的 べてが半分不要になることになります。 な視点で我が国を眺めると、これまた大変な問 また、収入の方は、二十世紀には所得倍増で昭 ある雑誌の記事によれば、二十一世紀末には 一方、最近の日本は、北朝鮮との国交や経済

卒初任給が平成十二年 (二〇〇〇年) には約二十

といわざるを得ません。

そこで、今こそ改めてJネットの存在理由を

倍率でいけば、二十一世紀末には初任給が二千 そんなことは期待できないでしょう。 五百万円を超えることになります。しかし、到底 万円と半世紀で三十六倍になりましたが、この 今の低成長の実態から推して、せいぜい一

くのインフラが維持できなくなるのは自明の理 私達が享受している豊かな生活の基盤である多 滅によって収入も大幅に減ることになり、今日 パーセントの成長と考えれば、五十五万円位が 妥当なところでしょうか。そうすると、人口半 ですから私達には、子孫が豊かな生活を送る

が一層有意義で楽しい集まりになると考えるか のステップへと飛躍することができ、Jネット 会員にすることだと思います。それにより、次 ことが先決で、それには一人でも多くの仲間を にはまず、会の組織をさらに確かなものにする Jネットの使命であろうと思います。 そのため 来の街づくりに資する提言を続けて行くことも になります。当分は、会員の親睦を通じて会の しょうか。Jネットは発足してようやく六年目 づくりやこれからの上越の進むべき方向性に対 このJネットのような組織こそがふるさとの街 と上越を愛する全国各地の人々の集まりです。 今後はより積極的に、ふるさと上越の豊かな将 組織を確かなものにしていくことが大切ですが、 し、大いに役に立つ時期が来るのではないで これまでも会員の皆様には色々お願いをして Jネットは、ふるさと上越を核にしたふるさ

が、西洋文明化された日本では非現実的な空論 策を考え、実現する責任があることになります。 ことができるように、将来を見越して色々な施 最も簡単な方法は出生率を高くすることです ご理解とご尽力をたまわりますようお願いしま まいりましたが、これからも会の運営に倍旧の



Jネットの皆様へ

上越市総務企画部長 三上雄司

によれば、約八割の方が上越市に愛着を に彩られた南葉山などなど…豊かな自然 四(やや良)」と良好であったようです。 終わり、周囲の田んぼは畔端のコスモス いところだと、最近つくづく思います。 ら暮らすことができる上越市は素晴らし の中で、季節の移ろいを五感で感じなが 桑取川のいさざ、お堀のハス、そして錦 の「跳ね馬」にはじまり、高田公園の桜 のものになってしまいましたが、妙高山 ような匂いは、今では懐かしい記憶の中 木に架けられた稲束の、あのむせかえる 大きな風水害もなく、稲の作柄は「一〇 が目立つようになりました。幸い今年は 先頃市が実施した「住民満足度調査 農家に生まれ育った私にとって、ハサ 黄金の穂を垂れていた稲の刈り取りが Jネットの皆さん、こんにちは。

> すいまちになってきたと感じておられる 一方、雇用対策や福祉・医療分野などに 大。この結果は当然これからの市政に反 た。この結果は当然これからの市政に反 映されていくことになりますが、私がこ 映されていくっとになりますが、私がこ 関心を持ったのは、市の施策に 対する市民の方々の意識と、それを企 関・実行する私達市役所職員の認識との ギャップです。職員の方ではまだまだ足 りないと思っているのに、市民はもうこ りないと思っている施策、逆 れ上必要ないと思っている施策、逆

に携わる一人として、改めて考えさせらに携わる一人として、改めて考えさせられている必要っているが東……上越市を住みよいまちにしたいという目標は同じ答ですが、「住みよいまち」として思い描いでいる姿が一致しているかどうか。行政でいる姿が一致しているかどうか。行政では、職員はもう相当いい線にいっている。

持っておられ、半数以上の方が暮らしや

れるものでした。

ものとして描き示せるかが大きな鍵に 有し、自分達のまちの将来像を夢のある はじめ市町村の職員が、住民と思いを共 しょう。合併の是非を問いかける首長を ていくのだろうか…ということでありま のだろうか、そして、暮らしは良くなっ 育った地域の伝統や文化が守られていく 最大の関心事は、合併によって生まれ さることながら、やはり住民の皆さんの れる要因となった国・地方の財政状況も 年から検討を行ってきました。今後、各 織し、議会や住民代表の方々とともに昨 名立町の十市町村で任意合併協議会を組 川原村、大島村、安塚町、そして中郷村 の方向を定めていくことになる訳です。 ぞれ住民の方々と十分に話し合い、合併 市町村がこれまでの検討結果を基にそれ では、三和村、板倉町、清里村、牧村、浦 合併が真剣に検討されています。上越市 市町村合併が大きくクローズアップさ

をはいいご支援と適切なアドバイスをくも温かいご支援と適切なアドバイスをくければと決意を新たにしています。いつければと決意を新たにしています。いつければと決意を新たにしています。いつければと決意を新たにしています。いつ

Jネットのますますのご発展をお祈り申にから感謝を申し上げますとともに、に心から感謝を申し上げますとともに、に心から感謝を申し上げますとともに、



今、上越市においても、周辺町村との

ふるさと上越。 兀気ですか」の便りを!

松川太賀雄(稲田出身)

た。ふるさと上越では地方自治の枠づく しみ、親睦会などの活動をして来まし で「ふるさと上越」の様子を知って懐か までは市が発行する「広報じょうえつ」 して頂いて六年目を迎えています。これ Jネットは、全国各地の皆様から支援

> ティティーの高さが大切で望まれること になっても、ふるさと上越のアイデン マになっていますが、どのような枠組み り=周辺市町村合併の問題が大きなテー

稿した、私の拙文を下に記させて頂きま 役目だと思うのです の提言をすることもサポーターとしての と上越に期待する「豊かなまちづくり 常々お話されていることですが、ふるさ そのようなことから上越タイムスに投 これからのJネットは、太田会長も

供連れの家族で賑わっていました。 水には、折からの猛暑に水着ではしゃぐ子 ました。中央の広場を巡らした小川と晴 速道・藤岡一Cに併設の「道の駅」に寄り つい先だって上越からの帰路、上信越宮

> の関心を引いたのは一際目立つ建物の農 ラン館などのいろんな建物があって、私 と売られています。 産物直売所。文字通り地場産品が所狭し 「道の駅」の中には花の交流館やレスト

取られたような気分になりました。 東管領・上杉ざる豆腐」と名付けられて 上越人としては謙信公のお膝元のお株を 驚いたのは、上州の「ざる豆腐」が「関

産品へ消費者の目を向けさせることが大切 だけでなく、安さで勝る輸入品から上越 産履歴を公表することで上越プランドの と思うのです。今まで以上に農産品の牛 信頼性を高め、他地域との差別化を図る 上越の主要な産業は何といっても農業だ

産品を二箇所、三箇所とそれぞれ直接注 質の良い米・味噌・醤油をはじめとする農 Jネットの会員は縁故と土地感があり

と、地域産品のブランド化をも意味して 揺らいだ消費者の食への信頼回復の動き として、不当表示問題や残留農薬などで で競争になっています。これは「安全・安 インターネットで産地直送などが地域間 心」をキーワードに「顔の見える農産品. 地域に根ざした農産品は今や、DMや

聞きます。経済の合理性を優先する時代 する方法・仕組みはないものかという声を 文をして買い求めているそうです。ただ、 を生み出せないものでしょうか。 ですが、それだけでないビジネスモデル 一箇所ごとにかかる送料の負担を、軽減 生まれ育った土地に自信を持ち、住み

だと思います。 これが上越プランドを育て、はぐくむの の「羲の塩」をつくりに行くことにしま 続ける人の心は熱いことを知っています。 さぁ、謙信公祭も間近、今年も謙信公

(八月六日、上越タイムス掲載)

ネット事務局にお寄せください。 *皆さまからの、ご意見・ご提言をJ お待ちしています



佐藤光子(東城町二丁目出身)

實氏と吉越氏は懇意だ。その吉越氏が三 三氏を通して、Jネット運営委員の内藤 田から出席。画家でも知られた故植木腎 「文芸たかだ」の編集長吉越泰雄氏が高 かれた。その同窓会に、評議会委員として 六月の末、高田高校の東京同窓会が開

人で会いたいという。

こと 治のご長男英明氏とは、ゴルフ友達との

都心に住む館長の英明氏は、その日偶

殆ど初対面である が一級下だったというご縁はあるものの、 氏とは、五十年ほど前、附属中学で私の方 案内することになった。ただし、私と内藤 あって、私の家に近い青梅方面に二人を になっていたので、その返礼の意味も 私は、帰省するたびに吉越氏にお世話

と屋、吉川英治夫人の経営する紅梅苑と 吉川英治記念館、川合玉堂美術館、まま、 うだけで何の違和感もなく、私の運転で そんな仲だったが、郷里が同じだとい

らも、あれこれと話は尽きない。 な椎の木や紫陽花などの花々を眺めなが け、一枚のガラスを通して、庭園の有名 はひっそりとしていた。ロビーで腰をか と、「あ、英明氏だ」と内藤氏。吉川英 雨のため、いつになく吉川英治記念館

> 氏としばし歓談。日立で活躍していた内 然訪ねてこられたようだ。内藤氏は英明 まで送った。家に戻ると内藤氏の帽子 藤氏の顔の広さには驚くことばかりだ。 帰りは私の家で小休止し、その後立川

二人誘って七月のサロンに行く約束と えればいいですよ」と。そこで、友達を 「いや、七月のサロンに持ってきてもら 「送りましょうか?」と電話で訊くと

なった。 いる - Jネットは人の輪を広げてくれて

談笑に忘れられたる夏帽子



(左)



幼友達 ゴロチャン

さいたま 安藤三郎 (東本町三丁目出身)

を走り回った幼友達にも会えるのである。 しく思われるのは山河だけでない。 そこしく思われるのは山河だけでない。 そこか は気持ちに成る。 南薬・朝日・金谷の山々な気持ちに成る。 南薬・朝日・金谷の山々な いまい しょうじょう はいしょうしょう はいしょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいしょうしょう はいしょう

「五郎さんが勘弁してくんないと云って 「五郎さんが勘弁してくんないと云って 野を過ぎての頃だった。戦後間もない時 断事だそうだから四十年も経過して居る。 知り合いの人に手錠を掛ける辛い職責を 果たしたゴロチャンの事が、長く伝えられているのは彼の優しさと誠実さが人々 の心を打ったからであろう。

懐かしかった。話は走り回った頃の時か方希を迎えた時の小学校の同級会だった。再会はだったが、兵隊・就職と高田を雕れていたので連絡も途絶えてしまった。再会はだった。

ら始まったが、手錠の一件から「オマンら始まったが、手錠の一件から「オマン以降・・温情溢れる警官・・の称号を以降・・温情溢れる警官・・の称号を以って呼ぶ事にする」と云うと、それは助弁してくれ実はこれこれの悪餓鬼の五交番動務の時「オマンがあの悪餓鬼の五交番動務の時「オマンがあの悪餓鬼の五次のれに冷やかされたと云う。それならオマンは鬼子母神様だ。益々偉いんだとなった。仏様に成っての一日十善より生身の一日一善が勝ると経文にあるから、お互い行いを正して長生きしようと大笑いになった。

命令されたと云う。提出してから土手に命令されたと云う。提出してから土手にあった。当時彼は大竹潜水学校で訓練中あった。当時彼は大竹潜水学校で訓練中あった。当時彼は大竹潜水学校で訓練中あった。当時彼は大竹潜水学校で訓練中

親・兄弟を偲んで別れを告げたら涙が止まらなかったと云う。一瞬夢を見たのだまらなかったとこう。一瞬夢を見たのだろうか、なんとそこは安養寺の階段だったからの女学校へ行っている娘さんが帰ってきていたが、常人と変わらぬ様子だったのが又二日ほどして訪ねたらによって書ことでしょ。

思ったと云う。 かったから、高田も空襲を受けたかと の家が疎開で取り壊されたとは知らな 励ましあって来たと云う。高田では駅前 ンネルは暗く恐かったから戦友と声掛け 機関車の先端の棒につかまって来た。ト 合って差し上げた。大阪から直江津迄は おいでだったので戦友と少しずつ出し ばで品の良い紳士がジッと飢えに耐えて 列車待ちして乾パンを食べていたら、そ 迄歩き、そこで列車に乗り大阪へ着いた。 く北を目指せばと三十 畑程雕れた廿日市 は何時か忘れたが列車は無しで、とにか 詔勅を聞いたと云う。復員命令が出たの 積み上げ焼却した。そしてそこで終戦の 出た岩国駅へ行って、死体を山のように くなって居たと云う。 十五日は空襲を受けて多数の死傷者が

上様 て広 うった 止 サロンでの安備さん

: との会話は全くの或は意識して高田弁でしい。

も生きてこれたのは有難い事である。彼して居たなぁと思った。それが其の三倍あの頃は若い者は人生二十五年と覚悟

腰掛け生きて帰れぬ事を覚悟したが、両

ふるさとの友だち

くってくださった。

== 長谷川千代 (五智出身)

ると、画面に吸い寄せられる。八月十九 日、NHKの朝のニュースで、「上越市高 ある土地とか、通った学校が、テレビにで たとえ期間が短くとも、住んだことの が、仕事が厳しくなり欠席がちとなっ ちす会東京支部会に、時々出席していた

の湯飲み茶碗をテーブルに置いて、テレ 田の~」という音声を聞いて、飲みかけ ピンクの蓮の花の大写し、そしてお堀 お手伝いをしたのが始まりだった。 と思う。それまで役員の皆様にお任せ 京支部の総会には九九年頃から参加した との合同の会合には出ていた。北城の東 た。たまに、同期の高田高校と北城高校 で、そのご恩返しのつもりで役員さんの

てしまった。同期生二人と、二~三年下 北城高校同窓会東京支部の支部長になっ 面のはちす花、少しの間見入ってし 私は、この六月に、ひょんなことから きな手術をした後で多少悲観的になって なってしまう。九六年秋、体調が悪く、大 方言が出て、気分は一気に十五~六歳に 同期生と高田で、また東京で会うと、

を訪ねようと思い立ち、高田へ向かっ なプランをたて、リレーで思い出の場所 た。友人たちは暖かく迎えて、いろいろ へ案内してくださった。長養館に宴席を 時間の余裕が出てきた今、思い出の地

でくださることになり、大変心強く思っ の方々が、支部役員として、一緒に組ん

は長い間疎遠になっていた。高四卒のは 在学し、東京へ転居してしまい、高田と

設けて、楽しい一時を過ごす機会もつ

私は一九四六年から五〇年の七月まで

心をかみしめながら、お弁当をいただい 果物まで用意され、待っていてくださっ たちの連絡所のようなお宅で、みんな気 町の呉服屋さんに寄った。ここは同期生 茶をした。電車の時間を見計らって、本 た。私たちは電車の中で、旧友の暖かい 友である。彼女は私たち三人に、お茶や なって、話をしてゆく。勿論女主人は級 軽に立ち寄り、お昼や、お茶をご馳走に 人と出席した。終了後、同期の方々とお 今年七月の本部の総会には、前記の二

たふるさとである 五智は、私にとって多感な時代を過ごし え短期間であっても、高田と住んでいた やはり、ふるさとは良いものだ。たと



古里 上越に報恩感謝

atale 佐野一茂(脇野田出身)

字を見て、まったく同感でしたのでご紹的時間術」を開くと、目に飛び込んだ文的に手にした一冊の本 「人生を楽しむ知りに手にした一冊の本」「人生を楽しむ知りに対したのでは、

謝」の気持ちで一杯になりました。そこには、次のような段落があり、ほんそこには、次のような段落があり、ほん

が無く、家業を番頭に譲るので、結果は が無く、家業を番頭に譲るので、結果は が無く、家が帰ってから、夜遅くまで浴 様を洗う。をの寒い夜でも、毎晩冷たい 林で洗う。正月でも休み無しで、普通の 人は幸抱できない。だんだんと自然淘汰 人は幸抱できない。だんだんと自然淘汰 くなればふやけた餅取り息子では見込み くなればふやけた餅取り息子では見込み

はんとに、その通りだと、故里、上蔵います。吹雪や鉛色の重い空の厳しいはます。吹雪や鉛色の重い空の厳しいないます。吹雪や鉛色の重い空の厳しいないでの対り乾しの手伝いの仕事などで、 る耐力を養い、 心身ともに鍛えてもらった ひ郷に感謝の日々です。

上越市は環境1S〇でも全国で初めてキャンプなど、沢山の思い出をつくってキャンプなど、沢山の思い出をつくってくれた、故里の自然、先生、同僚、そして多くの先輩の方々にも「報恩感謝」。故里地元で、上越の文化を管々と守り、故里地元で、上越の文化を管々と守り、意というできる方々に感謝申し上げます。

お蔭様で今年五月連休には、孫も上越お蔭様で今年五月連休には、孫も上越を故里の一つにできるように、写真のように脇野田の実家で農業体験をさせる事ができました。

自然と新潟県人が多くなる。」

柄の恵みに感謝。

富士山の麓に住んでから早くも三十七年を数えます。写真や本でしか見たこと年を数えます。写真や本でしか見たことを改めて噛み締めております。

これがらも故里、Jネットの便りを見ながら、「故郷は遠きにありて思うもの」といいます。 と何時までも大切にしてゆきたいと思っ これがら



のだろうか。 そんな成長した桜を見たい思いはかなう 花を開くにはどの位かかるのだろうか。 見に行くつもりである。立派な桜に育ち その帰りに高田に下車して自分の桜を

が城、私はこの名前が気に入っている。 自然が満ち溢れている高田城(別名、鮫

舎の奥まった所にあった理科室・実験用 の記憶に残っている。兵舎を改造した校 青春の一ページとして鮮やかに今でも私 の二の丸跡にある中学校での三年間は

わったような思いもする。しかし桜の 櫓が作られたり、公園全体の趣が少し変 いに建て直され、公園には博物館や三重 世紀が過ぎ、今では中学校の校舎もきれ は今では死語であろうか。それから、半 り、外堀の蓮を見ながら桜の公園に入 車通学し、高田駅から雁木の町並みを通 時、私は大潟村の犀潟駅から高田まで汽 だいた田辺先生がおられなかったら研究 具がつまっていた準備室と指導していた 者としての私はなかったであろう。当 中学校に通っていた。その汽車通学

木々は昔と同じように感じられる。

に訪れた母校の校舎前でのスナップであ は今から六年前、定年を向かえ久しぶり の一生と比較するには無理がある。写真 自然、特に樹の変化はゆっくりで、人

思いとして、昨年Jネットが企画した桜 生であった志賀君が画いた桜の油絵が 開かれている中学校の同級会が今年は十 た新南公園の一角に私の苗木が植わって 移転した県立中央病院前に新たに作られ の植樹に応募した。市の中心から郊外へ くれる。そんな忘れがたい桜と高田への 飾ってあり、それが思いを高田に誘って る桜を見に行く。居間には、中学校の同級 近所の大学や街路樹として植えられてい ている。春になるとやはり桜が気になり、 いるはずである。もう三十年近くも毎年 月に新潟市で開かれる。 私は、現在神奈川県藤沢市に居を構え



大滝恵三 (大手町出身)

身者が会員となっている。 秀副会長や水嶋晃監事はじめ多くの寮出 が多いと思う。このJネットには尾崎宗 の歴史に幕を閉じたことは、ご存知の方 越学生寮は、平成十一年十二月、一世紀 し、幾多の有益な人材を輩出してきた上 閉寮前後から今日まで、何かと上越市 上越地方出身の男子学生に宿舎を提供

経緯を報告したい プ役を務めてきた当事者としてこれらの との関わりが深く、その上越市とのパイ

寮の生い立ちから閉寮まで

中野区野方に復興して約十年、昭和三十 創立された上越学生寄宿舎は、本郷弓町 者や上越地方在住篤志家の寄付によって (文京区本郷二丁目) 時代四十数年、戦後 明治三十八年、上越地方出身在京有力

ともあったが、経済状況の悪化で募金の 築して上越市に移管する案が決定したこ

に、資格は東京圏に通う学生(女子も可)

、出身は上越地域二十二市町村を対象

なおこの二年ほど前、募金によって新

持っていたが、近年、生活面の豊かさに 磨の機会を与えるという大きな目的を 面だけではなく、共同生活による切磋琢 この間、学生に寄宿舎を提供するという 人上越学生寮と名称を変えて約四十年 四年十月葛飾区金町に新築移転、戝団法 よって寮生活よりもアパート、マンショ

金とすることも決定した 渡、売却資金は上越市に寄託して奨学基 認識し、閉寮、法人の解散を正式に決定 建物の老朽化もあり、平成十一年七月の の変化によって入寮者が激減し、また寮 の意義を認めなくなった風潮など、時代 し、また跡地三百坪は地元葛飾区に譲 役員会で、寮の社会的役割は終わったと ン暮らしが可能となったことや共同生活

上越学生寮奨学金制度発足

奨学金とは完全に別扱いとして平成十三 費を差し引いた二億円は、「上越学生寮 年度からスタートした。 委員会に置いてあるが、従来の上越市の 越市に寄託された。事務局は上越市教育 奨学金」の基金として平成十二年四月上 上越学生寮の趣旨、精神を生かすた 寮の土地の売却代金から解散に伴う経 メドが立たなくなって断念したというこ

ともあった。

とし、貸付金額は四大生月額七万円、大 上越寮友会から松枝迪夫会長と古川辰弥 副会長の二人が入っている。 査するための評議会には、寮の〇B会・ 学院生十万円とした。受給者を選考、審

名含み、女子は二名)。 高高原町一名の計六名(うち大学院生 出身一名の計六名(うち女子三名)。平成 市出身四名、新井市出身一名、糸魚川市 十四年は、上越市三名、大潟町二名、 後も形を変えて継続することとなった。 平成十三年度第一回の受給者は、上越 育英事業でもあった上越学生寮は、今

跡地は葛飾区の防災公園に

は葛飾区との話は成立していた。 葛飾区議を通じて葛飾区側と打診、折衝 をしていたので、閉寮が決定した時点で 九年十月頃から、私の知り合いの有力な 葛飾区に譲渡する可能性が出始めた平成 紆余曲折があったが、閉寮として跡地を その内容は①公園用地として譲渡、② 閉寮が正式に決定するまでの数年間

が可能、などであった。 園内に上越市の「木」とか「花」の植栽 りき」の記念碑を区の負担で設置、⑤公 分の二有償、③公園は十四年度末までに 開設、④公園内に「ここに上越学生寮あ 売買は国有地に準じて三分の一無償、三

終始和やかに行われた。 に疎開したという経緯もあり、 <u>+</u> 葛飾区から多くの小学生が上越地方 月二十一 日、葛飾区長との調印は 平成十一

なお葛飾区とは、昭和二十年の終戦の

ŋ, 公園の計画案と見取図ができたこと、 一月着工来年三月完成」という連絡が入 記念碑の材質の件や上越市寄贈の 「防災機能を持つ

絡をとると所轄は企画課であった。同課 木、花の打診もあった。早速上越市と連

は閉寮

の三浦課長(Jネット事務局長)

知っていた。お陰で話はスムーズに准 当時の東京事務所長で、その経緯を良く 市の花である椿を三本の寄贈、 上越市からは、市の木である桜を

本、 課長が紹介、この方向で進んでいる。 碑の材質は、新井市原産の千草石を三浦

れらに要する経費は全て葛飾区の負担 公園の完成が楽しみ、待ちどおしい。つ

い先日上越寮友会の総会、懇親会が越後

(田中弘邦上越商工会議所会

頭も出席)、この件を報告したところ、

地に集結することが決定した。 金町寮卒 町寮出身者の有志は、公園完成時に寮跡

期生の私も当然参加することとなろう。

湯沢であり

に入り葛飾区から私に

七月

いよいよ本年度は公園開設の年、

内山 貢 (東原出身)

今年の夏は、殊のほか暑かったです

ました。 すとサウナのような熱風が吹きつけてき と温度計は三十八度を示し、扇風機を廻 たまに冷房を節約して二階の部屋に行く 私の夏は、冷房に浸かり切りでした。 皆様は如何お過ごしになりましたか。

棲むプランクトンが減少しそれを食べる 移住を検討しているところもあるようで ると学者は予告しています。南洋の島々 で、平均気温が一度近くも上がっている 衛星カメラで観測されました。 氷の下に 棚氷が崩壊している事が、最近になって の中には、水没の危機が迫り住民全体が 地の氷が溶けて海面が一メートル上昇す のだそうです。そして、今世紀中には、極 南極では、東京都面積の一・五倍程の 世界的規模で温暖化が進んでいるそう

> ギンの数が極端に減少しているそうで ギンの生息環境が激変し、ある種のペン エビ類が少なくなり、食料不足などペン

ない状況です 定書から脱退を表明し、まだ批准してい 最大の化石燃料消費国のアメリカは、議 日本も平成十四年六月批准しましたが、 定書を世界の七割の国が推進しており、 炭素の排出量の削減などをきめた京都議 にその対策が検討されています。二酸化 地球の温暖化対策として、国連を中心

から、日本国土の約一・六倍の森林が消 本の面積が約三十七万キロ平方キロです 伐採や焼却により減少したそうです。日 約六〇万平方キロが、農地開拓のための 占めるアマゾン地域の森林は、およそ四 ○○万平方キロありますが、昨年までに つと言われる、世界の熱帯雨林の三割を 酸素供給や大気循環のバランス等を保

滅したことになります。

装など太陽熱を反射する構造になってい しました。 設に関して屋上緑化を義務づける検討を の対策の一つとして東京都は、ビルの建 等によるものと言われています。それら ることに加え、各ビル冷房から出る排熱 象と呼ばれ、街がビルやコンクリート舗 市型気候あるいは、ヒートアイランド現 三度ほど高かったようです。これは、都 一方、東京の今年の夏は、平年に比べ

ダの鉢植えで、木々や草花の景観を楽し らせて頂きたいと想います。 化に貢献することになることを思いめぐ まれると、それは、地球的規模の環境良 皆様の家庭でも、お庭の植樹やベラン

はかなり涼しくなってきました。 季節は、着実に変化して、昨今の朝晩



古希を迎えた元小学生の集い

永島セツ (佐内出身)

学校に入学した同期の桜は、男性三十六 日生まれの同期の桜たちです 八名が各地から集まりました。 けて越後湯沢の温泉宿に元小学生達二十 昭和七年四月二日から昭和八年四月 今年の八月二十二日から二十三日にか

交を温めていました。 名、女性五十四名でした。

泊で開催されたという次第です 私たちの生きた二十世紀は、まさに激

と名づけられ、今年九回目の同期会が 組からの呼びかけがあり、会は「春友会 ら男女一緒に集まろうではないかと男性 男性組の各々が定年を迎えた九年前か 以前は男女別々に同期会を開催し、旧 昭和十四年四月、有田村立春日新田小

> に配ってくれました。 者たちのためにも小冊子を作って出席者 いて今年古希を迎える昭和八年生まれの 年古希を迎えた記念に小冊子を発行、続 の教師で、昭和七年生まれの者たちが昨 なり、今回も会に出席されました。 の伯母上、中川助役の叔母上もおいでに 幹事役を買って出た男性は、元中学校 同期の桜の女性組には、木浦上越市長

て一日一日をお互い大切に生きましょう もしれないわね、友達のご縁を大切にし 闇というからこれが人生の別れになるか 来年また元気で再会したいね、一瞬先は 言葉を一同胸に畳んで散会しました。 り充実した実りの秋としましょう、の合 れから迎える人生の黄金時代、それをよ 毎年幾人かの物故者も出ているので、 七十歳の大台に飛び乗った私たちがこ

じては産業戦士、第一線を退いた現在は

産業廃棄物などと呼ばれている世代です。 動の世紀で幼いときは、軍国少年少女、長

よとなごりを惜しみながら―――



坪木良雄 (飯田出身)

うと肥料を多く施すと倒伏し易く、本当 に作りにくい面があって例外ではありま でさえ、病気に弱く、その上収量をあげよ ません。今、良食味で評判の「コシヒカリ といわれているように完璧なものはあり 「コシヒカリ」の生まれ育った道のりを 昔から「天は二ぶつを与えてくれない

代目(F3)の昭和二十一年に福井県農業 す。「コシヒカリ」はその中の一品種で、三 ウネンワセ、コシヒカリ)が世に出ていま (越後早生、ハツニシキ、ヤマセニシキ、ホ て選抜、育成されて五つの兄姉姉妹品種 後その種子を各地の農業試験場へ送られ 父に、農林二十二号を母に交配され、その

試験場に一部が送られて育成され、昭和

み」は、たんぱく質が六%以下がおいしい

号)から数えて一○○番目となります。 現在に至っています。ですから父(農林 一〇〇号「コシヒカリ」として命名登録し、 命名)その後、新潟県農業試験場では農林 帰りをしました。(新潟県農業試験場育成 二十八年に「越南七号」として新潟県に里 したがって新潟県農業試験場では親元

を見ることになった訳です。 量より質の世の中になってやっと日の目 和四十年代に入って食糧事情が好転し てソッポを向かれていました。しかし、昭 抗性が望まれていた時代なので品種とし された頃は何よりも収量優先と病害虫抵

として誇りとする所ではありますが命名

林一号 (新潟県農業試験場育成、命名) を 華やかなりし頃、新潟県農業試験場で農 辿ってみますと昭和十九年の太平洋戦争

は八十七%、もち米は一〇〇%、次いで「旨 八十~八十五%以上、因みに「コシヒカリ で、でんぷんのアミロペクチンの含量が 良食味米は何といっても「粘り」が第

> ご飯ということになります。このような 関係していると思われます。 香りなどの物理的、化学的な面も大きく の甘味、歯ごたえ、舌ざわり、色、つや はご飯の弾性や粘性など人が食べたとき 感じ方は好みによって異なりますが、要

米作りの回想

うに感じられます。 の米作りにもそれが連なってきているよ したがって日本の米作り、ひいては上越 欲しいという声が大きくなっています。 無農薬、減農薬、有機農法栽培による米が した。しかし、最近ではおいしくてその上 少しでもおいしい米を望むようになりま になりますと、人間の心理として今度は できましたが、量が一応確保されるよう も多く増産をと叫び、まずい米でも喜ん までは米は質よりも量をと、また一粒で 戦前はもちろん、戦後の昭和四十年頃

参し、駆除したくらいでした。

その肥料作りはほとんど家の屋敷内の 自給の堆肥が貴重な稲の栄養分でした。 粕 (大豆粕) が唯一の金肥 (購入肥料) で なければ農薬もなく、肥料といえばマメ そのものであって化学肥料らしきものも 我々の米作りは今呼ばれている有機農法 た時代でもあります。振り返りますと まり、小学校が国民学校に名称が変わっ 私達の小学校時代には太平洋戦争が始

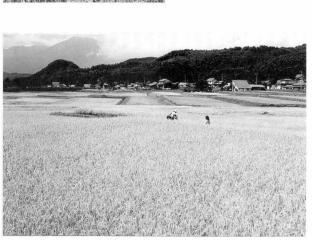
手っ取り早い場所で野菜屑やら家畜の敷

ら幼虫をみつけ壜の中に入れて学校へ持 した。また冬から春にかけて叺の稲藁か 後、青色蛍光燈)による誘殺位なもので (カーバイトのアセチレンガス燈、その の夕方、田園の所々に設けられた誘蛾燈 イムシ)の成虫をおびき寄せるために夏 んでそれぞれの田圃に曳いて運んだもの かった頃の寒い凍みた日の早朝、橇に積 運ぶのは翌年の二~三月頃、雪が消えか ろになってやり、その完熟堆肥を田圃に の暑い日の堆肥の切り返し作業は汗みど 藁などの有機物を積んだものでした。夏 でした。害虫駆除といえば二化螟虫(ブ

除草は草熱れと土を反転するたびに一種 三○~四○℃位にもなり、背を曲げての と共に雑草も伸び、その上、田の水温が は三番除草までしていました。特に賈 ります。田の草取り(除草および中耕)は 坪)を二十五分で打ち起こした記録があ はそれは大変な重労働でした。私もその め、手に「マメ」ができてしまい、それ で刈株を一株一株人力で起していたた ていましたが、牛馬のいない家は三本鍬 土)は牛馬のいる家は犂で能率よく起し (七月半ば) の炎天下での二番除草は稲 回から二回が普通で働き手のある家で 人で高田農学校在学時代に一畝(三十 また、田起し(一番起しや二番起し、碎

いと願っております。ごはんは繊維に富 リ」を食べて健康増進を心がけて頂きた にはもっと上越のおいしい「コシヒカ の向上によるものと思われますが、それ が日進月歩のように進んだ賜と栽培技術 れています。これも稲の生理生態的研究 も拘らず、おいしい米が八~十俵といわ ありましたが、現代では省力化されたに ル) 五~六俵 (一俵は玄米六十㎏) 位で されているので夢のような気がします。 ばれます。今は作業のほとんどが機械化 働作業がたくさんあり、人々の苦労が偲 かかる」といわれているように細かい労 みますと昔から「米作りは八十八の手が 員で脱穀しましたが、眠くて眠くて大変 か、または朝三時か四時頃起きて家族全 ちにと急いで取り込んだものでした。そ どこの家でも折角乾いた稲が濡れないう いので雨の降りそうな気配を感じると、 取り込んだものです。特に秋は雨天が多 続きなら七~十日間位で乾燥し、家まで 手刈りで、刈った稲束を架にかけ、晴天 秋の収穫時にはどこの家でも人力による の米作りはやるまいと思っていました。 独特の草の腐敗臭で、もう二度と農家で な重労働であったと記憶しています。 このような米作りの仕事を振り返って 米の収穫量は戦前では一反歩(十アー 低カロリー食品ですので食べ物の基 取り込んだ稲は納屋で夜なべ仕事





シヒカリ」の地産地消を願って止みませかです。常に身土不二を思い、上越の「コ

植木画伯とご長老

杉並区 内藤 實(本町六丁目出身)

いもり池では遺作展が開かれています。 ておられましたね。 キラ光るのを見て、「妙高」「妙高」と言っ 病室の窓辺の点滴のパックが朝日でキラ 頭の中が妙高一色だったのでしょうか。 そこから妙高が見えますか。幻覚症状で 『そろそろ一周忌ですね

のチラシを眺めていたら、声を掛けられ たくさんの人達が観賞していますよ』 とても嬉しいことに、あなたの「妙高」を、 「中国は美しいよ。絵になる」 地下鉄で一枚の中国旅行のツアー募集

三年前。それが画伯との出会いだった。 赤坂見附で乗り換えても一緒。バスも の病院で宣告された。 ところが、その後二人は癌の宣告を夫々

だが、たった二年間の交流だった。 驚いたことに家も近い ―しかし、思い出は尽きない。

九十五歳が寿命目標。精神年齢若い。 色々な経験、大勢の方達にも紹介された。 銀座・上越市・妙高高原にお伴した。 絵一筋、我儘だが人情味豊か、笑いあり 初仕事は、個展の手伝いと米寿のお祝い

「君は若いのだから急ぐことはない。頑張 当方は途方にくれ、医師に救いを求めた。 彼はそれから自分史に取り組む。 病人が病人を励ました。 彼は信ぜず、医者を藪と決めつけた。が

公園で拝見したのも一年前

三長老に触れた拙文で失礼しました

ご長老及び会員の皆さんのご多幸をお祈

身近かに接した故人と、Jネット会員の

「ハイ

今度はワープロのお手伝い。当方も娘に

りします

「山本惣治を知っているとは、高田の人か」

『文芸たかだ』の吉越秦雄さんの全面協力で 抱きしめた。 教わりながらの深夜作業 病床で痛みを抑えて、小冊子をシッカと

小冊子。「八十路を妙高とともに

「ハイ、わかりました 拶状を書いてくれ」 残念ながら、年は越せなかった。

通夜で、野口春雄さんから 寿命の目標には間のある九十歳で。

ただけと思いつつも、有難いお言葉だった。 君はよく尽くしたね と声をかけられた。当たり前のことをし

やって、もう一年が経つ。 筆、旧海軍仲間や部下の世話でご多忙。「佐 藤策次先生を偲ぶ」 は面白い。 渋谷で一杯 ンターの生みの親でもあり、九十歳にして 宮崎八百一郎さんのステッキ姿を近くの 星野清三郎さんも九十歳を過ぎて随想執 その野口さん、流石に常磐ハワイアンセ

「年賀状に添えて友人、知人に配りたい。挨 サロンでの内藤氏さん

岡村博己 (大町一丁目出身)

辺りです ります。大きな桜の並木がある青田川の 高田に帰るといつも散策する場所があ

六月の産卵期には大きな鮒(ふな)と

用して作られた用水路と聞いておりま 麓へと向かいます。江戸時代の外堀を利 がって南本町二丁目と平行して南葉山の 町三丁目の始め)今度は南に九十度曲 度曲がり、三百メートル程上ると (南本 我が家の裏(大町通りの始め)で東に九十

数匹取りました。こんな所に「鮎」がいる 掛けて取ります。

関川に流れる「青田川」をさかのぼると かり)型の針で魚が針の上に来た時引っ 網」か「引っ掛け」という特別な錨(い ゆ)」が群がって回遊しておりました。「投 本町小学校の裏を流れる川)に「鮎(あ 管で横切る幅四メートル程の用水路(南 魚の動きが見え投網でハヤを取ります。 むことなく清流となります。此処では、 ハヤがたくさん釣れましたし、銀トンボ (今の国立高田病院) 裏あたりから水が淀 水深一メートル程ですが、昔の陸軍病院 の宝庫でもありました。我が家の裏では 面白い事にこの辺で、青田川の下を土

魚影は見えませんが、秘密のポイントで ろうと連れ出しました。川が濁っていて に来たので、私の投網の腕前を見せてや 或る雨上がりの日、魚屋の友達が遊び

> 円で売れると云って持って帰りました。 とはとビックリしていましたが、一匹百 頃の農薬のない時代でのお話です。 まだ鮎代は貰っていません。昭和三十年

異でした。 繁殖を支える「青田川」はすばらしい驚 が中心です。毎年同じ漁獲高です。この る堰を上げます。すると、この時何千とい 日頃)に、毎年「堰払い」といって三つあ いた水が不要となる頃の日曜日(二百十 をとります。鮒、ハヤ、鯉、鯰(なまず) う人が網を持って浅くなった川に入り角 堰(せき)止めして田んぼに取り入れて

い川にして欲しいものです。 ボが戻ってきます。ホタルも甦るでしょ う。そして子供達が水遊びのできる美し 欲しいものです。きっと魚やメダカ、トン トルほどの深さでたえず流れる川にして くは、背の低い堰をたくさん作り、一メー えて今は水が少ししかありません。願わ 用水路としての「青田川」は、役目を終



澤カツ子(東中島出身)

審議会と長い名前ですが、略称「農都市 正式名は、上越市食料・農業・農村政策

庁で開催されました表記「農都市」審議 去る九月二十五日に、上越市役所の本

は以前報告させていただきました。 市」基本条例に基づいて設けられたこと このあり方の基本を定めた上越市「農都 を目標として、農業・農村と都市の共生 越市の食料自給率を、七十%にすること 会に松川副会長と出席しました。 この審議会は、平成十二年三月に、上

間の委員委嘱状が交付されました。そし 議会に期待する言葉があって、今後二年 局の遅れに遺憾の意を述べられた後、 年半も審議会が開催されなかった事務当 会で基本計画を審議して頂いたあと、 この日の審議会は、木浦市長から審議

て、審議会委員の紹介があり審議に入り

が十一月下旬に開催されることになりま 実現性の観点から見直して、次の審議会 ブランを事務局(農林水産課)で現実的 かつ計画的に具体化して行くアクション 本計画にもとづいた各種政策を、総合的 いて話し合われました。そして今後、基 これからの審議会のあり方と進め方につ 審議は会長・副会長の選出に始まり、

きながら発言して行きたいと思います。 会員の皆様からも、ご意見、ご提言を頂 思っています。そして、全国のJネット 活者として審議に関わって行きたいと ら離れた立場の消費者として、また、生 越市の農業・農村と都市・都市機能がどの ように共生するのが望ましいか、上越か ふるさと上越のサポーターとして、上



島田公園お花見会場での澤さん

私の雑感

府中市 金沢一男(大町五丁目出身)

の経営されている渋谷の事務所に移転さ より、運営委員会事務局等は和久井理事 サロンが上越市役所東京事務所の閉鎖に 毎月日比谷で開催されていたJネット

の人達とのおつき合いする機会はなかっ 事はあまりありませんでした。 上越出身 てますが、今までこのような会合に出る ないでしょうか。 にも増して参加者が増加しているのでは れましたが、サロンも毎月開催され、前 私も毎月サロンに参加させていただい

たのです。

手だったことを反省して、多くの人や そこで、これまで人とのつき合いが下

さとの話をお聞きしてふと感じた事があ 私の誕生日を前に七月に開催された」 うか。まだ、会社につとめておりますが、 はふるさとへ回帰するのではないでしょ 年齢になると、人間の考え方というもの は会社関係だけでした。年をとってある ネットサロンに出席されたある方のふる これまでは人とのおつき合いというの

らの自分を考えた時に感じる、さびし 分は何であろうかと不安がいっぱいで と考えてみたら、年とって老いて行く自 と思い、一生懸命働いてきましたが、ふ さ、はかなさでした。今まで会社のため

でした。もうひとつは周囲を見てこれか れまでをふり返って感じる年老いた自分 りました。ひとつは夢中で働いてきたこ

> るか」これが今の私の最たる課題で ある人生を送りたいと思っています。 揮しながら色々と活動したいと考えてい サークルに接し、ボランティア精神を発 す。・・・・・・何かよい方法は? 「どのようにしたら人とうまくつき合え る不安を克服しながら、少しでも意味の ます。そういう中で、自分の健康に対す

が、ふるさと上越のお堀にも大賀ハスが 宅で発芽させ、各地に株分けされました 川で見つけた古代のハスです。府中の自 植物生態学者の大賀博士が千葉市の検見 は大賀ハスがあります。この大賀ハスは あるのではないでしょうか。 ある郷土の森博物館にあるやすらぎ池に 私は府中に住んでおります。 府中市に

を咲かせていました。 ていましたが、蓮の花は昔と変わらぬ花 きましたが、いつ見ても田舎の風景はな つかしく、周囲の景色が建物等で変わっ 上越の蓮の花をしばらく振りに見に行

きましたが、今あらためて蓮の花の風暑 が植樹した桜や城跡などの写真をとって す。今回田舎へ帰って、Jネット交流会 をなつかしく思い出しています。 て、お堀の蓮の花を激賞されたとの事で 大賀博士は昭和二十八年に高田を訪れ

ふるさとというのは、年をとってから

れからの人生を元気づけてくれると感じ 帰ったとき、自分のこれまでの人生を別 の視点でふり返らせてくれると同時にこ



Jネットに感謝しています

京都府相米都当城 早川征男(南本町二丁目出身)

土愛を再認識させられます。 のきっかけになった高校のクラスメイト 感じたことは、上越の方々は故郷を大変 大切にされているということです。 入会 私は

「ネットに
入れていただいて
先ず

の四月「関西の一寸遅い桜」と七月「と で守られている」と九月「観蓮会」、今年 けます。今までに昨年の一月「故郷は味 いている事から、ときどき原稿依頼を受 かしい味を思い出させてくださいます。 が故郷の味を取り寄せてくださって、懐 ます。世話役の方は大変だとは思います 故郷の味に舌鼓を打つ様子から彼らの郷 味を味合わせてくださいます。出席者の 何れの店も上越出身の方の経営で故郷の き」や渋谷の「妙高」で開いてくれます。 が企画する東京での同期会は新橋の「と 以来
Jネットサロンにも
時々顔を出し 私はJネットの通信員をさせていただ

ションも始まります。 世代の違う方との新しいコミュニケー のでしょう。クラスメイトだけではなく されていませんから恐らくJネット会員 りますが、中学校では卒業生名簿が発行 行されていますから今の私の住所がわか ぶりの便りです。高校は卒業生名簿が発 同窓生ですから私にとっては、四十数年 名簿で今の私の住所を知ってくださった を頂くことがあります。 中学校や高校の

にJネットの意義を感じ感謝していま ション、新しいお知り合いのできること 通信による古い知己とのコミュニケー 私は味による故郷の思い出、Jネット



我が故郷の未来に想い…

富士宮市

坂詰真一 (黒井出身)

に反映した町作りが成されるべきである オッチング・ヒアリングをして、生活面 も、まめに自身の足で動いて様々なウ 聞くべきで、永田町に気をはせるより 業・個人も含め色々なアイデアや意見を まったようで残念であるが、内外の企 随分前に駅前のヨシイケも撤退されてし

と思う帰省になった秋の日でした。

二十年ぶりとなる同級会参加を果たし 今月(二〇〇二年十月)の十三日に、約

その際も、今回も感じた事があった。 田舎と言う存在は、やはり素晴らしい さて、帰郷としては二年ぶりである。

といった具合である。 の変化は〇Kだが、精神論はゴメンだよ るように思えてならない。それは、文明 が、その反面、日本人は変化を拒んでい れで良いのだろうかという心配もこみ上 わってないという安堵感、その反面、こ モノであるが、町並みを見た瞬間の変 さて、庶民というと千差万別の意見が 今、日本は激動の時代に入っている

> があった。生活に密着性のない企画・運 の不満でもあった。 であった。それは、上越ブロック全体へ 営になっている不統一な町作りへの文句 地元で町作りへの不満が噴出した場面

同じである ようだ・・・。現在の親子関係や国政と 経営理論では、CRMがやっと本格化 どうもコミュニケーションが足りない

めリーダーシップを発揮すべきである。 と未来を考え、企業に対峙して議論も含 治体は気にせずに、我が上越市はキチン では町は良くならないのである。他の自 いるはずで、相変わらずのお役所的発想 と、そろそろ真剣に考える時期に入って というお客様へのサービスとは何ぞや のようだが、自治体も同じであって、民 翌日十四日の帰り際に、直江津駅前で

得権益ではないという事である。 据えた時の真の国益であって、一部の既 出ているが、最も大切なのは、未来を見

ヨシイケの高橋社長に偶然再会したが



アーバンビレッジに住んで

上越市田園一九 渡辺高明 (北海道出身)

この地での生活を楽しんでおります。 叶い、感激に浸り、毎日新しい発見をし 私達夫婦は北海道で生まれ育って四十 上越に移り住んで二ヶ月。長年の夢が

ごしてきました。そんな二人にとって最 り、上越市のJネットの事を聞き、早速 キー、テニスが身近で出来る事。ある程 然を満喫でき、二人の趣味であるス なのは環境、山、川、海が傍らにあり、自 年、その後仕事の関係で東京で十数年過 入会させていただき、毎月広報を送って なった、埼玉在住で直江津出身の方よ 前より探し始めておりました。 生活に不便を感じない所等を考え、数年 度の広さの土地を求められ、年老いても で、どの様に生きるかでした。一番大事 大の悩みと云うか、関心は老後をどこ そんな折、趣味のテニスで知り合いに

いただいておりました。その後、年数回

上越に来て、人間の暖かさはもちろん、

を重ね、この地に棲む事に決めた次第で を持ち、四年前より数多く足を運び検討 の中の「アーバンビレッジ構想」に興味 報等で「上越市三○年超長期ビジョン の良さを知る事となりました。また、広 花見、スキー等でこちらに来て、この地 -のびやかJプラン――」を知り、そ

にと汗を流す毎日です。 来があると信じております。近所の方々 やめて来た為、生活に対する不安はあり スでも多くの仲間ができ、練習に、試合 住む事ができました。また、趣味のテニ 不安など全く感じる事なく安心して移り の人間の暖かさで、見知らぬ土地に来た ますが、それにもまして明るく輝いた未 上越に築きたいと思い、定年前に仕事を 私達としては、一日も早く生活基盤を

> はスキー、春には花見とこれらを通して り、新米を食べてもらったり、今後も冬 た。早速、東京や北海道の友人達に、こ 米、酒、魚の旨さは想像以上のものでし 付き合いを深めて行きたいと思っており の良さを知ってもらおうと、家に招いた

して行こうと思っております。 から認めてもらえるよう、妻と二人努力 ギャップを感じることは多少あります には、最後に良かったと云える様、また が、この地を「終の棲家」と決めたから 外から見た上越と、実際に住んでみて 日も早く新潟県人、上越市民として皆



られるように、頻繁に足を運んでいる。 け人なのか知らないが素晴らしいものが と思ったが、私に組みこまれたDNAが 松之山との接点が無くなってしまったか 家屋敷は無く、両親も数年前に他界し も経っているのに、何故か近年呼び寄せ 町。就学前に松之山を離れ、既に五十年 しっかりと繋いでくれていた。 私が生まれたのは、豪雪地帯の松之山

聞こえて来る。だからこそ今、故郷は元 るという状況の中、市町村合併の話しも 作業への参加は楽しい。過疎が進んでい での、田植え、畦なぎ、稲刈りと、稲作 た。子供や孫達、友人までをも巻き込ん たいと思い、個人会員となってしまっ で、私は少しでも故郷を近くに感じてい ある。グリーンリースの制度もその一つ 松之山町の地域情報発信は、誰が仕掛

高田も復活した。あの時代の一つひとつ

を見るとドキドキすることもあり、柴田 に見える南葉山と重なる妙高山。妙高山 忘れられない心の故郷。本城町に住んで 高校の多感な時代を過ごした忘れたくも 長俊画伯の妙高山にぞっこんである。 いたので、通学路の景色はお堀の向こう もしたいと思ってしまう。 Jネットの会員になったことで、私の もう一つの故郷。私の高田は、中学・

れることだろう。 を伝えたい。DNAは組み込まれてい が後押しをしてくれたから。東京生まれ に、故郷の風のやさしさを感じ取ってく てくれる日が来るだろう。私と同じよう る。いつか、彼らが松之山や高田を語っ の子供や孫達にも私の故郷のすばらしさ のあり様がしっかりと思い出される。 大好きな地。今があるのは、故郷の風

気であって欲しいと、エールを送り協力





上越の蕎麦とラーメン

れたそうです 上越のご婦人が数人で札幌へ行か

せっかくの機会だからと全国的に有

よろこび勇んでズルーッと一口食べた ラーメンが全員のカウンターに並び しました。 まもなくおいしそうな 五分、やっとのことで席につき、注文 ので、そこの後ろに並び、待つこと十 名なラーメン横町へ繰り込みました。 行列のできる店がおいしいと聞いた

ず叫んでしまったそうです。 さて、ここに載せましたお店は皆様 確かに上越のラーメンのレベルは高

のお口に合いますかどうか・・・。

美味しい。 値段もリーズナブルで文句な

〇の方がずっとうまいワー」と思わ とりが「何これ!。オラチの隣の〇 たそうです。そしてよせばいいのにひ 途端、全員が顔を上げ互の顔を見

【お蕎麦のおいしいお店】

にのみや

うになった」とは地元の常連の話であ う。亭主の勉強熱心は有名で「ここ数年 にぶつかったら右へしばらく行くと右側 信大通り」を春日山に向かい、五智街道 寄ってみた。市役所の北側に開通した「謙 先日、上越へ出掛けたついでに友人と昼に で見違えるように美味しい蕎麦を打つよ したあと六年前にこの地で開業したとい に看板が出ている。有名な一茶庵で修行

辛味大根のおろしで食べる「おろし」も ○円、「天ざる」が一三○○円。特に数量 円、「しらゆき」八〇〇円、「十割」九〇 おすすめメニューは「せいろ」が七〇〇 限定の「十割そば」はぜひ食べてみたい。

> 夜が十七時~二十時。定休日は毎週火曜 営業時間は昼が十一時三〇分~十五時で などの地元の銘酒があるそうだ しである。メニューにお酒は載っていな 日とのこと。 いが聞いたら雪中梅、八海山、千代の光

上越市大豆二一六一一一

電話 〇二五―五四五―三二四七

こにたっぷりと大根おろしを載せた「き 旧高田市内からは今池の橋を渡り、清里 〇〇円と良心的 しそばが一〇〇〇円、天ざる蕎麦が一二 値段はざる蕎麦が七○○円、きのこおろ すすめとか。 ニューに工夫がみられる。てんぷらもお 汁で食べる「おしぼりそば」などメ のこおろしそば」や自家製大根のしぼり に打つ蕎麦の評判は高い。数種類のきの 団地内にある。長野県出身の店主が熱心 村役場の手前、菅原小学校が目印。平成

URL http://www2.ocn.ne.jp/basyote/

日は月曜日(ただし祝日は営業)とのこ 七時~十九時、夕方は予約が必要。定休 営業時間は昼が十一時~十四時、夜が十

中頸城郡清里村大字平成一九〇—七 〇二五一五二八一四六〇五

『長沢茶屋

ずに通り過ぎてしまう。建物は鉄筋作り るのでわかるが、看板がなければ気付か にある。橋の欄干に大きな看板が出てい に向け進む。山に入るにつれ、道幅は狭 国道二九二号線を新井市街から飯山方面 落に入ると国道から橋を渡ったすぐ対岸 くなっていく。県境近くの長沢という集

麦粉にごぼうの葉の繊維をつなぎにした ちょっと茶色がかった蕎麦は地元産の蕎 以上の経験を持つ主婦達が作ってくれる ○○円)である。地元の蕎麦打ち二十年 階が食堂、二階が日帰り温泉(入湯料三

おこし事業として行っているもので、一 で、古い峠の茶屋という風情はない。村

値段はもりそば六五〇円、天ぷらそば七 五〇円と安い。

年末年始とのこと。 十八時まで)。定休日は毎週水月曜日と 営業時間は十時~十八時三〇分(冬季は

onsen/joetsu/j2/j2-9. htm URL http://www2b.biglobe.ne.jp/~kondo/ 〇二五一五七五一三四五八 新井市大字長沢一三五五一一

『くるまや五合庵

る。ざるそば五五〇円、ざるそば食べ放 ニューや特別メニューを常に工夫してい あげてある。そば以外にもいろいろなメ ばを自家製粉し、独自の配合にて仕立て る。長野県黒姫の農家と契約栽培したそ 製麺所に特別に打って貰う機械打ちであ る店が多い中、ここは店主の実家の嶺村 さらに直進する。手打蕎麦を売り物にす 二九二号の松下電子とサティの交差点を 信越本線の北新井駅から東へ向かい国道

(要確認)とある。 七時三〇分~二十一時。定休日は不定 営業時間は昼は十一時~十四時、夜は十 の天ぷら二五〇円と多彩で値段も安い。 塩するめの天ぷら三五〇円、こがねもち ○○円、豚こしょうの天ぷら三五○円 び入り天ぷら七〇〇円、納豆の天ぷら二 五〇円、ジャンボかき揚げ六〇〇円、え 題一〇〇〇円。揚げ物は野菜てんぷら三

kurumaya/index.html URL http://www.arail20.gr.jp/p/ 〇二五一五七二一六四七六 新井市月岡三九〇一二

『小嶋屋アコーレ店

年三月にオープンした上越ショッピング ス)の交差点に当たる富岡地区に平成八 北陸自動車道と国道一八号(上新バイパ

地域で取れる玄蕎麦を使用し、ヤマゴボ

みは月曜日 (祝日の場合は翌日) 営業時間は十一時~十九時三〇分。 三〇〇円、ぽてもり(五合)三五〇〇円 う。値段はもりそば六○○円、天ざる一 まいするので、行くならお早めがよさそ ニューもある。そばがなくなり次第店じ ぱいに盛った「ぼてもり」など異色メ のせた「そばだまし」、蕎麦を大ざるいっ が、チャーシュー風の豚肉をいっぱいに 山菜たっぷりの山菜そばなどは一般的だ 風の蕎麦である。もりそばやとれたての ドし、山芋つなぎで打った腰の強い田舎 元産と北海道産二種類のそば粉をブレン で打つ香り高いそばは、石臼で挽いた地 く行くと右側にある。妙高のきれいな水 い、中郷インターの入口を過ぎてしばら 国道一八号を旧高田市から長野に向か ば (三人前) が二五五〇円である。 てしまう。天ざるは一三〇〇円、へぎそ 取ったダシによく合い、いつも食べ過ぎ 昆布、鹿児島県枕崎産かつお節などで て打ったへぎそばは、秘伝の返しと日高 製粉し、青森県尻屋産の「ふのり」を使っ 海道沼田産の純国内産そばを石臼で自家 れており、説明の必要も無いだろう。北 る。ふのりつなぎのへぎそばはよく知ら ば」の十日町小嶋屋のアコーレ店であ センター「アコーレ」内にある「へぎそ

jouetsu/kojimaya.htm URL http://www.chuokai-niigata.or.jp/ 上越市富岡三四五八 アコーレ店 〇二五—五二一—二五四〇

山の里」の蕎麦は霧下蕎麦と呼ばれこの 来るかヒヤヒヤしていた。」そうだ。「深 ところ。店主は「こんな山奥で商売が出 べりで昔から大変な地域として知られた 地区は新井市の中でも過疎、豪雪、地す どり着く。まさに秘境である。ここ平丸 山道を行くと寸分道(すぶんどう)にた しばらくしてY字路を右へ進む。大変な 鳥坂発電所を見て三キロ先を左へ入り **称飯山街道を飯山方向へ向かう。右手に** 新井市内の市街地から国道二九二号の通

にはトライしてみたいところである。 行止めになるこの地域だけに夏と早い秋 り決まっていない。冬期間はほとんど涌 営業時間は宿泊と同様予約制になってお る。ざるそば七〇〇円、天ぷら三〇〇円。 (日帰り三○○円) もあり、宿泊もでき ウの葉をつなぎにつかっている。 温泉

URL http://wwwl.ocn.ne.jp/~bunza/ 中頸城郡中鄉村大字市屋四一八一二 〇二五一五七四一四〇六〇

『滝見屋食堂

サラリーマンも多い。カレーなんばんが七 事に温泉街の駐車場に車を停めて立ち寄る と蕎麦を手繰るのも粋である。また、昼食 酔いをさましながら散歩。かえりにちょっ ある。松之山に泊まり、宴会のあと外気で 松之山の温泉街にある普通の蕎麦屋さんで 〇〇円、天ざるが一二〇〇円

〇二五一五七五一二七五六 新井市平丸寸分道五五六四

電話〇二五一五九六一二三〇七 東頸城郡松之山町湯山一三九〇—一

【上越のラーメン屋】

『ほうとく』

麺が八五〇円、味噌チャーシュー麺九五 賛する書き込みが目立つ。 チャーシュー ネットで検索すると掲示板にこの店を絶 る。どちらも評判の店である。インター の横を通る謙信大通り沿いの大豆にあ 抜けた土橋に本店がある。支店は市役所 旧高田市内から北本町を直江津に向けて

時、十七時~二十二時。定休日は水曜日 本店の土橋店の営業時間は十一時~十四 (春日山店は火曜日)

〇二五一五二三一六九四六 上越市大字土橋七一七一二

||食堂||ユーミナ|

はかなり待たされることがあるので要注 車場は大きいがバスが止まっているとき と特製の味噌を使った味噌ラーメン。駐 いる。お勧めは鶏のガラで取ったスープ 店の『ミサ食堂』は三十年以上も続いて の店は平成三年のオープンであるが、本 近くの中郷自動車学校が目印になる。こ く行った国道に面したドライブインで 意。味噌ラーメン七〇〇円、塩ラーメン い、中郷インターの入口を過ぎてしばら 国道一八号を旧高田市から長野に向か

〇二五一五七四一二〇九六 中頸城郡中鄉村稲荷山新田三六七

定休は水曜日

五五〇円。営業時間は七時~二十一時

定休日は毎週火曜日

る。二〇席程度の小さいお店で、メニュー し手前を左折した路地の一つ目の角にあ を直江津方面に向かい、市民プラザの小 旧高田市から上越大通り(旧国道一八号)

> 分~十四時まで。定休日は日曜、祝日。 五〇円。営業時間は昼のみの十一時三〇 注文する。昼の二時少し前に行ったがす れになると閉めるらしい。ラーメンが四 でに暖簾がかかっていなかった。売り切

も多くないが客のほとんどがラーメンを

にある。上越地域にはここを含めて三店

上越市土橋一四四四—— 〇二五一五 三 一 七 三

の店だけあって多彩。ラーメン五○○ 満足させてくれる。メニューは中華料理 麺のコンビネーションは今も変わりなく た。濁りの無い透明なスープと細い縮れ に来るとよくお袋が出前にとってくれ が楽しみだった。また、家に友人が遊び バスを降りて「上海」で食べるラーメン にバスで直江津へ海水浴に行き、帰りに め向かいにある老舗である。中学生時代 高田の北本町二丁目、陀羅尼八幡宮の斜 、餃子五〇〇円、坦々麺七〇〇円、チー

『オーモリ』東本町店 上越市北本町二―四―三 〇二五一五二三一三三五八

> 報にこのお店で修行した人が開店した東 していて飽きない。以前、Jネットの会 たおいしいスープと麺、具がよくマッチ 何度か行ったことがあるがさっぱりとし こ、東本町店は三十席程度の店である。 舗あり、地元ではよく知られている。こ

円、ねぎラーメン七○○円、ねぎ味噌 ご存知の方もあろう。ラーメン五○○ ン九〇〇円。営業は十時三〇分~二〇 ラーメン八五〇円、味噌チャーシューメ 大和のお店を紹介したことがあるので、

〇二五一五二五一九四一七 上越市東本町五一二一二三 時。定休日は水曜日

『やまだラーメン』土橋店

バ麺七五○円。営業は十一時~二○時: ごったスープに巨大なロース肉が乗って 少し先の左側にある。この店の圧巻は 油味のホタテラーメン七五〇円、塩バ マも太くて長い。パーコーメン九○○ おり、メンが肉の下に沈んでいる。メン パーコーメン。豚骨のみでとった少しに を過ぎるとまもなく儀明川を渡る。その 上越大通りを直江津に向かい、栄町入口 味噌味のカキラーメン七五〇円、正

> 住所 上越市土橋一五九五—二

時~二十二時。定休日は決まっていな る。中華そば四五○円。営業時間は十一 しょうゆ味。何か昔に返った感じがす ふれる手打ち麺。スープは豚骨ベースの ご主人自らが力強く包丁を入れた野趣あ なっている。メニューは中華そばのみ ある。六○年前の民家がそのままお店に ヘニプロック先を右へ曲がったあたりに い中町交差点の先にある地蔵院の先を右 新井駅前を新井信金の前を通り西へ向か

〇二五-五七二-二一七七 新井市白山町 一二一四

高田の東本町五丁目、稲田橋の手前右側

○時。定休日は毎週火曜と第二、四週の 時間は昼十一時~十五時、夜十七時~一 ター味のカニラーメン一一〇〇円。営業

〇二五一五二三一六九〇九

新潟あたりから車で来るファンもいると 二九二号になる。その立体交差をさらに メン愛好家の間ではよく知られており 直進すると左側にある。上越地域のラー 国道一八号と立体交差し、そこから国道 を新井へ向かう。北新井駅の少し手前で 脇野田の駅前を通る旧国道(上越大通り)

住所 曜日。 合う。 十時三〇分~二〇時三〇分。 ミソチャ 七〇〇円、 こくがあり、こだわりの自家製麺とよく ラー 新井市柳井田一 ーシュー チャーシュー メン五〇〇円、 九五〇円。 = -メン八〇〇円 味噌ラー 定休日は水 営業時間は メン

か。油の浮いた豚骨スープは脂っこいが

URI 電話 http://www.arai120.gr.jp/p/ 〇二五一五七二一六〇六〇

macyaya/index. html

です。皆様から頂いたお店の情報や 上越在住の方々からの情報をもとに 回は上越の蕎麦とラーメンの特集

記事としました。ですからここに出 作成しました。次にインターネット でこれらのお店について検索して紹介

ているお店以外にも美味しいお店が

たくさんあると思います。上越へ行っ

らご紹介ください。次号以降に掲載 た際にそんなお店が見つかりました していきたいと思います。







上越の食材を使った炭火焼・創作料理の店 「山鳥の庄」オーブン

用意しています。 的に上越の食材を取り入れた創作料理を 味を懐かしんでほしいと、同店では積極 らしている上越出身者の人たちに故郷の 上越の味覚を提供しています。都会で暮 をはじめ、味噌、醤油、魚、ワインなどの 火焼・創作料理の店「山鳥の庄」が七月 日にオープンしました。 港区に、上越出身者が参画している炭 上越の豊かな自然に育まれた米や地酒

集まっている地域は他にはないのではな て驚きました、こんなにおいしいものが はもちろん、晩酌にもピッタリです。 越の地酒も豊富に取り揃えていて、食事 とねぎの辛味噌春巻き』など、また、上 をアレンジした料理などが楽しめます。 レ、月見ダレ)』や『鶏ラーメン』、『地鶏 人気は『自家製鶏団子の串焼き(味噌ダ メージした店内では、備長炭と天然塩で - 寧に焼き上げた串焼きや、上越の食材 「上越はおいしいものがたくさんあっ 土壁や黒竹を用い山里の一軒家をイ

> たらと思います。」(店長 しいもの、本当のサービスをご提供でき 方が東京に来られた折に、 東京のお客様に届けるとともに、上越の いでしょうか。私たちは、上越の味覚を 少しでもおい



東京都港区芝大門 1 門ワンダービル1 (5408)00~23:30 【休】日曜·祝日





今年しゃ豊年 穂に穂が咲いて

枡を捨て置き 蓑ではかる

た。親から世俗に染まってはいけないと

越後いたこ唄」

越後いたこ同好会

は全く無関係のものだと思うとされてい 「越後いたこ」は日本海沿岸で発生し ありがとうございました。

り子でもあった青年男女のよって創作さ ろうと、小山氏は推測されています。そ 「イタコ」に転化、潮来節の歌詞の移入に **唄となり、口寄せ唄の意味も加わって** トだより」で、会員の皆様にかって口ず にゆずることとしまして、先般、「Jネッ あてはめたものと言われます。 れたものや、他の民謡の歌詞を移入して から大正時代にかけて、歌い手であり踊 江戸時代末期の一部を除く大部分は明治 全く不明で、現在歌われているものは して、「越後いたこ」の発生当時の歌詞は よって文学的な「潮来」になったのであ のが、いつの間にか陸に上がって盆踊り た舟歌で、最初「板子」と呼ばれていた さて、「越後いたこ」の薀蓄は別の機会

伝わって、「おっぴよ」「チョンコ節」「秋

「越後いたこ」は上越地方に古くから

環で「いたこ唄・踊り日本一大会」が開 り)を復活させようと、「はす祭り」の一 た郷土色豊かな「越後いたこ唄」(盆踊

上越では代々伝わって唄い踊り継がれ

かれました

うのが通説と言われています。 頚城地方に伝えられた」(高田市史)とい 江戸をはじめ、全国的に流行した「潮来 城県潮来地方の舟歌として発生し、後に

しかし、郷土史家の小山直嗣氏によれ

節」が、当時のごぜや船頭たちによって、 お座敷唄として歌われ、文化、文政ころ 歌だそうです。その由来については、「茨 田音頭」などと共に、全国的に有名な性

> させていただきます。 の許す限り歌詞を記載して、お礼に代え いずれ小冊子にする時期が来ましたらご もお知らせくださった方など様々です。 て口ずさむ義父の歌詞を聞き書きで十編 より」に書いた代表的な歌詞に触発され を送ってくださった方や、「Jネットだ 叱られながらも記憶に残った艶歌や性歌 案内させていただきますが、ここに紙幅

田舎ながらも 金谷の薬師 森の高田を 目の下に

*コラサット ドッコイサット (手拍子) パンパン

又は、

ドドンコドンドン ドドンコドン、

さんだ懐かしい歌詞を募りましたとこ 越後高田に すぎたるものは 大寺同心 時の鐘

太鼓ドンとなりゃ 寝た目もさめる

いたこ踊りで 夜が明ける

唄え唄えと せめかけられて 今年しざうでも また来年は 道の小草にも 米がなる 歌が出ないで 汗がでる

蕎麦は三角 やぐらは四角 おらの踊りは 丸くなる

歌が十ありゃ 九つまでも 色の混じらぬ 唄はない

コリャコリャ コリャサア 姉ちゃ来ない来ない餅もって来ない わしの袂に 砂糖があょる

花見するなら 高田に来ない

にあてはめて歌ったもので、「潮来節」と だけを移入して、地元の盆踊り唄の曲調 の北岸で歌われている「潮来音頭」「潮来 全く異質なものであるし、現在北利根川 ば、江戸時代に流行した「潮来節」とは

の総数も二百篇を超えて収集できまし

ろ、多数の方から寄せていただき、歌詞

甚句」とも曲調が違うので、一連の歌詞

あねちゃおばちゃの雪の肌

太鼓ドンとなりゃ 寝た目もさめる 起きて 格子にすがりつく

うだう屋	踊り踊るなら 品良く踊れ	中の一の谷 あっても良いが	一夜でもよい あの主さんと
ともに白髪の 生えるまでお前日まで わしゃ九十九まで	立ち見の場所じゃなぁい 立ち見に来たか 個々は	中の一の谷 なけりゃよいおらが若いときゃ 仙納まで通った	下手な剣術 のろまな夜這い
	踊り見に来て 踊らん奴は	手を出しゃ 嫌だとぬかしやがるそば(そば(と)	どうしてあんたに まよたやら
帯に短し 襷(たすき)にゃ長い	早くションべして 寝るがいい 踊り見に来て 踊らん奴は	惚れた証拠に あれ見やしゃんせ	月はまんまる 出ているけれど
紫どちりめんの 模様付き毛だし買ってきて 広げてみたら	焼かわいや 正善寺育ち	惚れて通えば 千里も一里	あなた川西 わしゃ川東
可愛いあの子の 毛だし買い兄んちゃ何処行く 草鞋んがけで	前の姉ちゃの 着物の柄は	地れた ほの字が 二字あるならば	来るか来るかと 川下見れば
わけて、の町、なお流行るよどまかせらせは、どこから流行った	おまえ背の松 わしゃ谷の藤	惚れているのか あなたの癖が	嫌なものなら 何故あの時に
暗くかりゃご 苦労くなど泊めてやる踊ってくんない 他所だって何だ	今じゃ七村の 名も知らぬおらも若いときゃ 七村通った	月のちいと出を 夜明けと思い	明けて来年 なじょだやぁら 東氏目もさめる



おかげさまで1周年



〒943-8799 上越市大手町3-21

高田郵便局

会の運営に ご協力いただいている 特別賛助会員です。



幸です

結果校正ミスなどがあるかも知れませんが、ご容赦いただければ

編集委員は皆ボランティアですのでなかなか時間がとれず、

また、今後とも会報をはじめ」ネットの活動にご協力くださるよ

リネット運営委員 岡村博己

た。たくさんのご寄稿ありがとうございました。で、いろいろと面白い話が多く編集の傍ら楽しませていただきまなっています。皆様がそれぞれの思いで書いていただいていますの

うお願いいたします





株式会社福田組代表取締役副社長 共 如 196

代表取締役副社長 苅 部営業本部長 苅 部

東京本社

〒162-8411 東京都新宿区市谷本村町3-26 TEL 03-3269-4711 F AX 03-5261-5387

上越を読む

JACK LAND

TEL 025-524-4275 FAX 025-524-4451

ね

編集後記

な時、

真がメールで送られて来ると急に上越を想い起こします。

妙高山に初冠雪の知らせが届き、

、続いて、

白く化粧した山頂の写

様方からの支援で会報も主体的に発行できるまでになりました。

会員の多くの方からの投稿を中心にしたものと

一回の会報は、

Jネットが6年目になった矢先、上越市の東京事務所が閉鎖にな

会報の編集をしていると一層懐かしさが増します。

ました。事務局が本庁に移り運営に危機感もあったのですが、

■会員募集のお知らせ

Jネットも6年目を迎え、これからますます充実した活動を行うためにも、より多くの方にネットワークに参加していただく必要があります。 是非、皆さんのご親戚やご友人にJネットをご紹介ください。

■ お届け先が変更になった方はお知らせください

転居により住所が変更になった場合は、新住所 を事務局までお知らせください。(電話、FAX、 E-mailでも結構です。)

■皆さんの声をお聞かせください

ふるさとに寄せる思いや思い出など皆さんからのお便りをお待ちしています。また、Jネットの運営に対するご意見ご要望も合わせて募集しています。



~日本の本格的ワイン発祥の地~ 禁 岩の原葡萄園

TEL.025-528-4002 新潟県上越市北方1223番地 URL http://www.iwanohara.sgn.ne.jp/ 日本の本格的ワイン発祥の地『岩の原葡萄園』は、明治23年の創業以来、3世紀 にわたって高品質のワインを世に送り出してまいりました。

お薩様で上越市の代表的な特産品として、多くの方にご愛飲いただいております。 さて、弊社では、遠方にお住まいでお近くに岩の原ワイン取扱店がない方に向けて、 『岩の原ワイン みゆき会」の会員を裏集いたしております。

ワイン1万円(税別)以上のご注文で送料無料、ご入会ブレゼントや、お買上げのポイントによるブレゼントなど、色々と特典がございますので、Jネット会員の皆様も是非ご利用下さい。

お問合せ

株式会社岩の原葡萄園 025-528-4002

皆様のお宅まで ふるさとを お伝えします。



①皆さんの情報をお寄せください。

上越タイムス社では、Jネット会員の皆様の各種情報を求めています。ふるさと を離れてご活躍されている皆様を記事で応援します。 よろしくお願いします。

②11月20日、居多神社宮司の花ヶ前盛明氏書の「上越の史跡と人物」を発行いたします。 上越地方125の史跡と人物の謎に迫る1冊です。 ぜひこの機会にお読みください、定価1.900円十級(送料含まず)

①②とも、ご連絡先は025-525-6666まで

●発行

ふるさと上越ネットワーク事務局(上越市総務企画部 企画課内)

〒943-8601

新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 FAX.025-526-6111 E-mail: j-net@ml.city.joetsu.niigata.jp

運営委員会事務局

〒150-0011

東京都渋谷区東1-26-30 渋谷イーストビル

(株)社会システム研究所内

TEL.03-3499-8299 FAX.03-3486-0986

【情報をお待ちしています】 TEL.025-526-5111(Jネット事務局)

